

仙台市議会 市政活動報告

令和8年 議会報告 春号

仙台市議会議員 ごうこ正太郎



今回の定例会では会派の幹事長として代表質疑、そして予算審査では2つの単費と会派総括の質疑を行いました。

音楽ホールや太陽光パネルなどメディアが取り上げる注目議案の質疑も行った一方、数年にわたり取り組んできた政策や今後の財政見通しについての質疑に力を入れて参りましたので、その一端をご報告いたします。引き続き2元代表制の一翼として市当局への提案とチェックに力を尽くして参ります。

プロフィール 市民フォーラム仙台幹事長、都市整備建設委員会 委員
文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会 副委員長
議会運営委員会 委員
スポーツ市議の会幹事長 等

代 表 質 疑

取り組んできた 地元企業の優先発注に進展が！

1期目当時、市役所からソフトウェア関係事業の77%が東京を中心とした市外への発注をしていることを受けて度々取り上げてきた地元企業への優先発注。昨年の第3回定例会でプロポーザルの場合地元企業に加点を検討する答弁をいただき、今定例会で後追いの質疑を行い、本年1月から財政局長令で地元企業に対してプロポーザル加点を行うことを共有した旨の答弁がありました。

引き続き仙台の中小企業の応援を全力で頑張ります!!

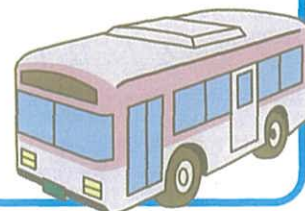


自動運転レベル4の実証は 錦ヶ丘が最適ではないか？

3年前より、バス路線の減便を受けて、錦ヶ丘地区のバス路線を様々検討すべきと議論を続けて参りました。

昨年自動運転レベル2の実証実験を錦ヶ丘を含む市内4カ所で行いましたが、現在のバス路線の状況も考慮しながら完全自動運転でもあるレベル4のバス運行の実証を行っていただきたい旨で質疑を行い、『錦ヶ丘を含むレベル4の実証を本年中に検討して参る』という旨の答弁をいただきました。

引き続き地域の実情も考慮した検討をしていただけるように議論を続けて参ります。



保育園の安定経営に向けて！

2019年から保育園を作るときに助成を出すのではなく、保育士への助成を増やすべきという立場で議論してきました。保育園は現在空き枠が増えており、経営課題を抱える保育園が多く存在し、それを当時から危惧していた為です。

実際に現在も保育枠は増え続け本年4月から更に300人の保育枠が増え、現場の保育園からは大変な危惧の声が上がっています。

保育園の経営危機は新たな待機児童問題につながる可能性があり、次年度以降の保育基盤整備について質しました。答弁としては事業者には、本市における地域の需給状況等を十分に踏まえた上で検討いただくよう、丁寧な対応に努めるとともに保育提供体制のあり方の検討を深める。という一定の理解ができる答弁でありましたが、引き続き保育で預ける側、預かる側双方が納得のできる制度を目指して頑張ります！



その他代表質疑で議論した項目

仙台市の北部地区でも小児救急拠点整備・仙台市立病院の経営安定化のための繰り出し金強化

年末年始・インフルエンザ流行期における初期救急医療体制の強化

読売ビル建て替えとラグジュアリーホテル誘致・年間700万人の観光客を目指した施策強化

自然を破壊するメガソーラーを作らせない体制整備・メイドインジャパンを増やす自然エネルギー促進
役割を終える市民会館・戦災復興記念館と計画されている音楽ホールの需要について

等 49 の項目を質疑いたしました。

詳しくはこちら



予算審査土木費

ついに旧市民プール跡地にできる アーバンスポーツ広場の全容が 見えた！

1 期目の時から質疑で取り組み、要望してきた
若者から人気のアーバンスポーツを楽しむこと
ができる広場整備が現実になりました。

今回の答弁ではスケボー・ダンス練習場・3人制
バスケの整備を進めていることが明らかになり、
私の方からは加えて若い世代に周知を行い、広
く使っていただけるよう要望を行いました。

詳しくはこちら



予算審査消防費

救急車の適正利用を進めて 今後に備えよ！

ここ数年救急車の出動件数は年々増加、受け入
れ病院も頑張ってくださいっていますが中々追い
ついていない状況から 4 病院再編問題も含め医
療資源の適正化を議論してきました。本市では
2047年まで救急車の出動件数は増加し続ける予
測が出ており、『薬が足りないから救急車を呼ん
だ』など不適切な救急車利用を減らし、逆に心
配性がある方々に対しては適切に救急車を呼ん
でいただく環境整備を #7119 の活用などを通し
て行うよう要望する質問を行いました。

詳しくはこちら

